



令和7年2月12日(水) 実施

防災行政無線を用いた情報伝達訓練

地震・津波や武力攻撃などの発生に備え、全国瞬時警報システム（J-アラート）を用いて送られてくる国からの緊急情報を、さまざまな情報伝達手段で確実に町民の皆さんへお伝えするため、情報伝達訓練を実施します。※中止となる場合があります。

訓練で行う情報伝達試験放送

- | | |
|---|--|
| <p>▶日 時 2月12日(水) 11時頃</p> <p>▶方 法 町内に設置してある防災行政無線から定時放送と同程度の音量で一斉に放送</p> <p>▶問合せ 総務課 ☎2 1 1 1</p> | <p>▶内 容</p> <p>①「これはJ-アラートのテストです」×3</p> <p>②「こちらは、ぼうさい こうざき です」</p> <p>③防災行政無線チャイム</p> <p>※神崎町以外の地域でも、全国的に様々な情報伝達手段で試験が実施されます。</p> |
|---|--|

～神崎歴史巡り～

藤堂正高 大貫陣屋跡

かつて大貫には藤堂正高（1588～1629）が陣屋を構えた大貫陣屋が存在しており、現在は天満宮と石碑が確認できます。

藤堂正高は戦国の築城名人藤堂高虎（1556～1630）の弟であり、藤堂家の人質として江戸に暮らした後、徳川家康から慶長4年（1599）に下総国香取郡大貫村外15カ村三千石が与えられました。正高は大坂の陣（1614～1615）で兄の高虎に加わり、八尾の戦いで奮戦しますが、許可なく参戦したため謹慎することとなります。元和5年（1619）に復職すると正高は伊賀国内に領地を与えられ、下総国の領地は津藩に編入され廃藩置県に至ります。

大貫陣屋跡

鳥居

天満宮の鳥居があり、看板で陣屋跡の歴史を知ることが可能



階段

足元に注意が必要。途中にある石碑を見るのも面白い

陣屋の位置

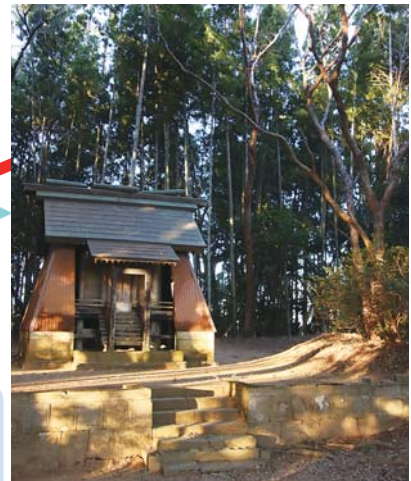
正確な位置は不明だが、鳥居周辺にあったのではないかと考えられる



頂上

天満宮

頂上の天満宮。立地的に陣屋の背後を守る自然の要害であったと考えられる



※観光時の注意 周辺の民家や私有地に勝手に立ち入らないこと